

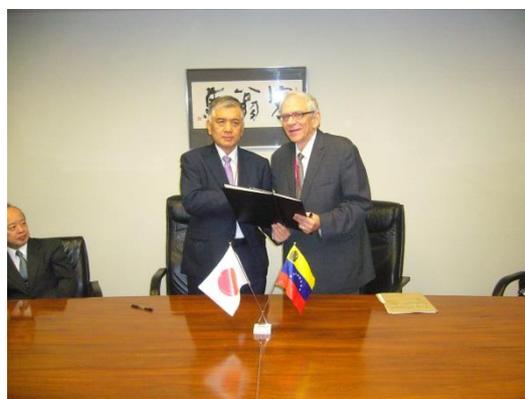
(プレス・リリース)

日本政府、中西部地方心臓疾患協会・アスカルディオを支援

2018年1月18日、在ベネズエラ日本国大使館に於いて、岡田憲治在ベネズエラ・ボリバル共和国日本国大使と、中西部地方心臓疾患協会・アスカルディオのバルトロメ・フィニソラ病院長との間で、同協会の心臓血管画像解析改造計画の為に、日本政府の草の根・人間の安全無償資金協力を通じた贈与契約の署名式が行われました。この贈与の合計金額は、138,000米ドルで、X線管 Infinix VC-i の購入に充てられる予定です。

アスカルディオは、ララ州バルキシメトに所在する1976年に設立された非営利団体です。同団体の目的は、地域レベルでの心血管疾患の予防と管理のためのプログラムを支援することです。ベネズエラでは、心血管疾患が疾病による死亡の主な原因で、ASCARDIOの使命は、国内レベルで心血管疾患の予防および管理プログラムを支援し、健康管理のためのサービスを提供することです。2008年、日本政府は、アスカルディオの児童心臓病および先天性心疾患診断のための医療機器を改善するプロジェクトのために、86,959米ドルの供与を行いました。アスカルディオは、同州と他州のベネズエラ人の心臓病分野に大いに貢献しており、この日本政府からの供与により、心臓血管疾患の診断サービスを提供する能力を向上する事が期待できます。

日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力は、基本的なヘルスケア、基礎教育及び貧困緩和、その他の分野における開発プロジェクトを支援する目的を持った地方公共団体、非政府組織(NGO)、教育機関及び医療機関等向けの無償資金協力です。日本政府は、1999年よりこの協力を続けてきており、今日までにベネズエラの55の団体及び組織等がこの協力を受け、その合計金額は約3.9百万米ドルに達しています。



(了)